

# クラブ ファンタジーだより

No. 24 1998・4



ごあいさつ



会長 岡田 晴美

毎年のように、春の風が岡田山に桜の花、新芽の緑などを運んで来て、平和な幸せを感じさせてくれます。

私事ではありますが、今年の新卒生と一緒に、私も学生時代から長年お世話になりました神戸女学院の専任教員定年後の非常勤講師も定年を迎えて卒業致します。人生の大半を過ごさせて頂いた岡田山は、まるで我が家のように私を包み幸せに過ごした高等女学部(現・中高部)の低学年と、戦争のため様変わりした高学年、また戦後の苦労を経験した音楽部の学生時代など、多くの体験が今日の私を支えていると思います。すべてに満ち足りた現在の学生達が、他人の心の痛

みを理解出来る、暖かくて強い人になって、人生を真摯に生き抜いて頂きたい、というのが私の願いです。

二〇〇〇年度からの開設に向けて準備を始めた音楽部の大学院については、昨秋クラブファンタジーからも理事会に嘆願書を提出しました。神戸女学院で最初に開設されたのが英文科と音楽部であったにも拘らず、現在まで大学院が設置出来なかったのですが、この度、理事会の承認を頂けたことは、大きな喜びです。今後の益々の発展を心から祈りたいと思います。

卒業にあたって

115 音川 洋子(P.)

怒濤の如くに過ぎ去った四年間でした。練習室に百足が出没するほど私達を囲んでくれた緑、四季折々の鳥のさえずりは、音楽を学ぶにふさわしい環境でした。又、熱心に御指導下さった先生方、気さくな図書館と事務室の方々、生徒のだからしなさを嘆きつつも、日々掃除をして下さったおぼさん達に、心から感謝いたします。専攻しているものと自分との関係、又音楽そのもの

## クラブファンタジー賞



115 黒田 育世(Vc.)

うえなきめあて

この度、クラブファンタジー賞という立派な賞を頂き、大変嬉しく思いますと共に、

今日まで私を暖かく見守り、ご指導下さった先生方、先輩方に深く感謝しております。十年間岡田山で学び、得ることのできたものは、はかり知れません。それらは私にとって、何ものにも代え難い宝です。私は四年前入学式で「地の塩、世の光となれるよう精進します」と述べました。今、卒業するにあたり、このよう

な名譽ある賞を頂き、決意を新たにしております。受賞者の名に恥じないような良い音楽家になれるよう、これからも日々精進して参りたいと思います。最後に私の好きな讃美歌聖書第三節を引用させていただきます。

完全にむかいて進まん  
途にて気をゆるめず  
うえなきめあてをのぞみ  
笑みつゝたえずすまみ  
アーメン

ハンナ・ギューリック・スエヒロ賞

115 高橋 智子(P.)

ものの奥深さなどを考える機会が多く与えられました。が、それらは卒業後にもつとわかつてくるような気が私にはします。音楽を職業にするもよし、趣味にするのもよし。ただ、音楽は人の心をあたたかにできるものということは確かです。私達各々が、人を励まし、自分をも励ます音楽を続けていけることを願ってやみません。

## 音楽学部だより



音楽学部教授  
学科長 前中明子

一九九七年度から思いがけなく学科長という大役をおおせつかつて必死に務めている間に早くも一年が経とうとしています。

今までは大学の運営に関与することは少なかったもので、学ばねばならないことの連続ですが、昨年度まで自己評価委員をしていて、大学全体を見渡す機会があったのは、神様のお計らいであったかと思えます。

音楽学部で今最も新しい情報は、震災以前から懸案であった大学院設置が、大学及び学院の承認を得ていよいよ本格的に動き出すと

いうことです。一九九九年

度申請、二〇〇〇年度開設に向けて準備を進めています。その準備の一環として、一九九七年度から管楽器の専任教授の西田直孝先生をお迎えしています。今、教員スタッフを見渡しますと、とても充実していると言えますが、神戸女学院のようにな小さな学部の大学院設置には難しい面もあり、設置の理念や構想に神戸女学院の特色を活かせるように知恵を尽くさなければなりません。この大学院が出来れば、専攻科の一年間では忙しすぎて落ち着いて取り組めなかった事、つまり一つの課題に対して、あらゆる方面から多くの専門の先生方の指導を受けて、深く研究する事が出来ますので、専攻科に較べてはるかによい成果を得ることが出来ると考えています。どうかファンタジーの皆様もこの大

学院設置をご支援下さいますようにお願い致します。

こうして今、立派な教授陣を得て喜ばしい一方で、

岡田先生に続いて、昨年度は間苧谷先生・立川先生と同窓生教員の定年退職が続き、同窓生の専任教員が激減し、のみならず男性教員が半数以上になって来ているという問題があります。

非常勤講師については努力して増やしていますが、専任教員が激減している事に不安を覚えておられる方も多いと思います。豊かな才能を持っておられる同窓生の皆様、卒業後も真剣に勉強を続けて学院に帰って下さることを、卒業生である私たちは切望しています。

学院の建築については、同窓生の皆様はじめ各方面のご協力を戴いたお陰で、J・ダッドレー館（大学研究棟）・中高部・学生寮の再建が終わり、六月十一日にK・C・C・（コウベ・カレッジ・コーポレイション）のメンバーを迎えて建堂式がおこなわれました。学生

寮は以前と違って個室となり、食事も自分で作ることも震災後南寮が閉鎖された為に殆ど使われていなかったのですが、防音・改造し、

グランドピアノ三台を入れましたから寮生活も非常に快適になったようです。大学は今年度から学年暦が変更になり、八・九月と、夏休みがまとまって長くなりしましたが、その夏休みも居心地良くなった寮に留まる学生がいるようです。

昨年のファンタジー便りに寄稿して下さった、客員教授のベクテレフ先生は今年度で二年の任期を終えられますが、引き続き日本に滞在し、武庫川女子大学音楽学部にお勤めになる様子です。神戸女学院のほうは来年度、ハンガリーのリスト音楽院からカールマン・

ドラフィー先生をお迎えすることにになりました。ドラフィー先生はまだ四十二才とお若く、ヨーロッパでも人気の高い現役演奏家です。同時に優れた教師でもある

素晴らしい先生の方です。M一〇〇回の岩田朋子さんのリスト音楽院での先生でしたので、正式決定に到るまで岩田さんには色々ご助力を頂きました。

この客員教授決定は、新米学科長には大変な仕事であり、客員教授のポストすら確保されていなかった前任者のご苦労の一端を垣間見た思いでした。すべてにおいて前任者の先生方始め、先生方皆様に、そして特に事務の方々に助けて頂いてようやく一年過ごして参りました。後一年間神様が力を与えて下さることを祈りつつ頑張って行きたいと思っております。

音楽学部では四年生、及び専攻科の学生によるオペラ研究発表公演を毎年行なっています。

今年は二月一九日(木)に、「コジ・ファン・トゥッテ」指揮・中村健、演出・有吉真知子で成功裡に終りました。本公演は一般にも公開しております。

# 私の今日このごろ

名誉教授 林 達 次

まことに月日のたつのは早いもので、私が定年退職し岡田山を去ってから、もう七年が過ぎ去りました。

幸いなことに、私は健康に恵まれ、お陰様で元気に音楽のある生活を続けております。この間、私のライフワークであった、十回のオラトリオシリーズを終わり、私の主宰する京都・大阪ゲヴァントハウス合唱団と共に、国内・国外での演奏活動を続けております。

昨年十一月には、ライブツイヒ・ゲヴァントハウスからのお招きで、ゲヴァントハウス及びバツハゆかりの聖トーマス教会で、演奏会をする事が出来ました。又、宝塚ベガホールでのメサイア演奏会も毎年十二月に行い、もう十年以上続いていますし、その他の合唱団やオーケストラの宗教曲

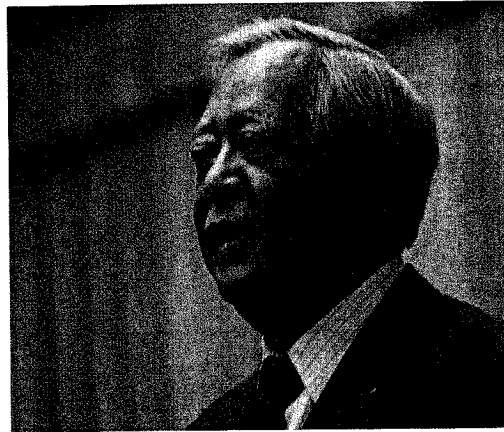
を指揮する事が多くなってきました。

この様な事は、実は私が二十五年間、神戸女学院音楽学部にて奉職しておりました事の延長線のうえにある事で、その意味に於て、私は今尚、神戸女学院の人間であるという自覚を持たざるを得ないのです。実際、神戸女学院に在る間に学び知ったことは、はかりきれぬ程多いのです。音楽の教師として、或は合唱指導者として、定期演奏会での二回のメサイアの指揮や、毎年のクリスマス礼拝に於ける音楽の奉仕によって得た経験が、今日の私を支える大きな力となっている事は間違いないです。私が同志社中学に於て、ホザナコーラスによって経験した事や、ウィーンに留学して学んだこと、そして神戸女

学院に勤める様になった事の間には、一つの不思議なルールが敷かれていたような気がします。

音楽学校を卒業してすぐお世話になった京都女子大学に於て経験した仏教や、

さて昨年から始まりました一月十七日の震災記念追悼コンサートでは、モーツァルトの「レクイエム」を歌う為に、二百人以上の方々が集まって、夏から毎日曜日に汗を流して練習し、今尚、心に深い痛みを残している人々によるレクイエムの演奏は、音楽の歴史の中でもかつてない事と、思います。この様な意義深い音楽を指揮することの大きな責任と光栄を戴いた事



一九二四年、京都に生まれる。  
一九四七年、東京音楽学校(現東京芸大)卒業。  
一九五五年、ウィーン国立音楽院へ留学。  
一九六七年より神戸女学院大学音楽学部で教鞭を執る。一九七一年には再びウィーンに留学。数十回に及ぶドイツ歌曲を中心としたリサイタルのほか、歌劇への出演も多い。一九七七年、京都・大阪ゲヴァントハウス合唱団を組織し、以後国内、海外での演奏会を続けている。大阪府民劇場賞、大阪文化祭賞奨励賞他を受賞。  
現在、神戸女学院大学名誉教授。

それに伴う、東洋の伝統的な音の構成する美意識が、ヨーロッパで発達した音楽の原点である中世の教会音楽の美的構成を感覚としてとらえる上で、大きな力となっている様です。

ておられます。又、このオーケストラは、飯野さん(75)・蓮江さん(84)姉妹のご尽力で、神戸女学院の卒業生が中心になって編成されたものです。参加者全員が、あの強烈な災害を経験し、心より感謝しています。この様に、お陰様で定年後も、精一杯働く事が出来るのは本当に有り難い事です。今後とも神戸女学院のOBとして、ふさわしい仕事を続けたいものです。

## 第八回吹田音楽コンクール

## 作曲部門第一位を受賞して

110 植野 洋美

この度、皆様のお陰をもちまして、荣誉ある賞を受賞することができました。神戸女学院で学ばせて頂きましたことが、創作において私の力の源となり土台となつて、卒業後も勉学に勤しんで参りましたが、まだまだだと自分では思つておりましたし、今回においても、全く自信というものはございませんでした。しかし審査員の先生方から『個性、獨創性』についてのお誉めのお言葉を頂きましたことは、私にとつてはいちばん嬉しく有り難いことでございます。芸術の原点が「神様からひとりびとりに与えられた個性」であると思つて居るからです。

私がなぜ参加したかと思つてみると、もし予選を通して本選では素晴らしい演奏家の先生方に自作品を『実際の音』にして頂ける

ということと、終了後には著名な審査員の先生方の貴重なお話を聴かせて頂けるという二つの大きな魅力があつたからです。さらに本選に出場した五人の作曲者

同士の関西出身の私以外は東京芸大の学生、院生、卒業生、尚美コンセルヴァトワールの卒業生で、皆関東出身でした。が同じ道を志す友人としてお互いに交流できましたことは、大変嬉しいことでした。作曲のコンクールは、国内外とも他の部門に比べて非常に数が少なく、またどれも未発表のものという条件があり、編成や演奏時間の規定がまちまちで、一つの作品を持ち回しできないので、参加したいと思えば全く新しいものを創作しなければなりません。私も機会があれば、またさらなる目標に向かって頑張つてみたいと思つております。

最後になりましたが、私をここまで育て導いて下さいました先生方や応援して下さいました方々、また在学中、学業を支えて下さりました事務の方々、深く感謝し厚くお礼申し上げます。そしてどうぞ今後ともご指導下さいますようお願い申し上げます。

## スタンフォード大

## 大学院に学んで

92 生島 美紀子

皆様お変わりございませんか。本日は米国滞在中に第二の母校となりましたカリフォルニア州にある、スタンフォード大学音楽部大学院を紹介させて頂きます。

スタンフォード大は、サンフランシスコとハイテク関連企業の集中するシリコンバレーの中間に位置し、その美しいキャンパスで知られています。車で回つても三十分以上かかる広大な敷地には、世界中から集まる研究者の宿舍、十を越す

図書館、郵便局や附属の大病院、ゴルフ場まであり、無料の循環バスが走つて、さながら小さな町の様です。昨年五十周年を祝つた音楽部は、伝統的音楽を対象とする音楽学部門と、コンピュータ及び音響学を対象とする部門との二つに分かれています。音楽部図書館の規模は全米でも十指に入るもので、コレクションの豊富さは、楽譜、楽書、レコード類に加え、中世からの手書き写本がマイクロフィルムに収録され、いつでもコンピュータで調べられる様になっています。

この様に整つた設備、環境のもと、広い視野を持つた教授陣に囲まれての勉学は非常に恵まれたものでした。例えば私の担当教官であつたグレイ博士は、音楽学のワグナー研究で著名な方で、且つ独文学でも学位をお持ちです。

授業は多岐にわたり、必修の楽曲分析は音楽史の時代を追つて、旋法・調性・近代の三クラスに分かれま

すが、内容が多く進度も速い為、準備に寝る時間もない程でした。十二音技法の理論書と分析を読んだ上で、自分の分析法に応用・発表レポート提出という宿題が一週間で課せられた事もありました。

修士論文にはオネゲルの交響曲をとりあげましたが、女学院時代に出会つたこの名曲を、分析に加え、音楽史的、美学的見地から再び考える事が出来ました。大変な喜びでありました。この度、後輩の指導にあたらせて頂く機会を得まして、今まで学びました事が母校のお役に立ちますなら何より嬉しく存じます。

作曲専攻の卒業生には、上記のお二人の他、聖和大学助教「響の会」会長として御活躍の93丸尾喜久子さん。音楽学部非常勤講師の102石原恭子さん、104大野和子さん。また99橋本玲子さんなど多くの方が研究を続けていらっしゃいます。

昨年、クラブファンタジーの夕べを十一月十日(月)宝塚ベガ・ホールで開催致しました。五十周年を間近に控え、今回から趣きを変えて、現在既に社会的評価を受け、幅広く活躍されている御二人、及び今後の活躍を大きく期待されている方々に、出演していただきました。バラエティーに富んだプログラムで、大変好評のようでした。本年も楽しんでいただける夕べを開催したいと思っております。多くの方々がご来場下さいますように、御協力をお願いします。



クラブファンタジーでは、演奏会をなさる方の後援をさせていただきます。ここに'97年度の後援状況をお知らせ致します。

今後、演奏会の後援を希望される方は、会長の岡田晴美先生まで、ご連絡下さい。(タイトル・日時・場所・卒業回数等)



'97年度  
クラブファンタジー  
後援について

クラブファンタジーの夕べ

1997年11月10日(月)

於：宝塚ベガ・ホール

第一部

- 1. ハープ二重奏
  - 1st 中島順子 M110 ☆111
  - 2nd 佐藤仁美 M111

二台のハープのための

グランドデュエット変ホ長調

.....ジョン・トーマス

- 2. フルート独奏
  - 前田綾子 M111
  - 共演ギター 鈴木大介

タンゴの歴史.....ピアソラ

酒場 1900

カフェ 1930

ナイトクラブ 1960

現代のコンサート

- 3. ピアノ独奏
  - 小幡麻紀 M111 ☆112

練習曲Op.8 No.8、No.12 }...スクリャーピン  
幻想曲Op.28

第二部

- 1. ソプラノ独唱
  - 田中潤子 M 94
  - 伴奏 中矢紀子 M109

唄  
からたちの花 }.....山田耕筰  
鐘が鳴ります }  
そして小鳥は }.....ブッチーニ  
死とは? }

オペラ「マノン・レスコー」より  
このやわらかなレースの中で }.....ブッチーニ  
一人寂しく }

- 2. ピアノ独奏
  - 黒瀬紀久子 M 92
  - 即興曲Op.90D.899 .....シューベルト

1997年度

1. 岩田朋子ピアノリサイタル (M100)	1月24日	13. 斎藤言子ソプラノリサイタル (M94)	10月29日
2. 田丸尚子ヴァイオリンリサイタル (M81)	2月22日・4月26日	14. Piano Duo Recital	10月31日
3. 武田有賀ピアノリサイタル (M99)	4月25日	15. 響の会 第8回作品発表コンサート	11月6日
4. ピアノ デュオ・コンサート	5月7日	塚本文子(M89) 丸尾喜久子(M93) 田林須美江(M96)	
奥村智美(M74) 湊 朱美(M77)		木村三奈子(M96) 大野和子(M104) 敷地文江(M104)	
5. オペラ・アリアとピアノ協奏曲の集い	5月11日	村上暁子(M108) 村井香代子(M109) 植野洋美(M110)	
石原千絵、笠原麻子		16. 碓山典子ピアノリサイタル (M105)	11月15日
大月司都子(M108 P) 森口佳子(M107 P)		17. 山内鈴子ピアノリサイタル (M91)	11月23日
6. 黒瀬紀久子~シューベルトを弾く (M92)	6月1日・10月5日	18. 芦原昌子ソプラノリサイタル (M97)	11月24日
7. 若い音楽家たちの飛翔	6月17日	19. 横山由起子ピアノリサイタル (M104)	12月15日
小島敦子(M113 P) 田中万由里(M105 Sop.)		20. 櫻田真須子ソプラノリサイタル (M105)	'98 1月11日
興膳麻美子(M113 P)		21. 中村美生子ピアノリサイタル (M101)	1月17日
8. 島 敏子ピアノリサイタル (M108)	7月5日	22. 小池 泉ピアノリサイタル (M105)	1月24日
9. 奥村真理ピアノリサイタル (M100)	9月15日	23. かぶとやま交響楽団 協奏曲の愉しみ	2月15日
10. Piano Duo Salon Concert	9月21日	川本佳代子(M109 P)	
中嶋奈美子(M93) 松田真理子(M91)			
11. さわやかコンチェルト'97	9月26日		
前中明子(M77 P)			
12. 秋田直美チェンバロコンサート (M109)	10月17日・11月29日		

# 同窓生訪問



111 前田 綾子

大学時代よりいつの間にか「フランス」へ向かって歩いていました。フランスのエスプリにどっぷり浸りたくなって留学準備を始め、パリへ渡ったのは大学を卒業した年の夏。

一年目はとにかくフランスにいますという感激とその反面、初めての一人暮らし、慣れない言葉での生活の戸惑いに終わってしまったように思います。ようやく生活に対する余裕が出てきたのは二年目。学校も二つ通い、現役で活躍されている二人の先生に違った角度からのレッスンを受ける事が出来たのは興味深いものでした。

また素晴らしいコンサ-

トやオペラを安い値段(学生券は約千円)で観ることができたのも留学生にとつて有難い貴重な経験でした。その頃住んでいたアパートから歩いて行ける所にホールや劇場がいくつもあり、多い時には週に三〜四日気軽に足を運べました。

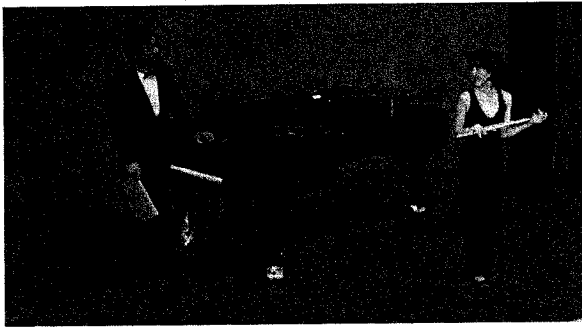
三年目に入ってやっと日常のあらゆる物事が落ちついて見られるようになりました。日本にいと情報の豊かさにまぎれて自分を見つめ直す時間や空間がなかなか得られませんでした。パリではその自由な時間や孤独との戦いでした。また、日常生活を通して日本にはない文化や感覚を発見し、それらについて考えていた時間は何にも替え難い大事な宝物になっています。

学校はこの年新たに二校へ入学し、レッスンの中で自分のイメージにある音楽をつくる事だけに専念しました。理想の音楽は持つていても決して先生のコピーに終わらない自分の音楽スタイル。これは人生の中で

経験したあらゆる気持ちから生まれるものと思っております。実際の生活の中で悩み、ひらめき、思い直し、感謝し…。自分をふり返つてみると立ち止まったりまわり道をしたりして歩いてきたようで、実はまっすぐな一本の筋であるように思えます。全ては無意味ではないという事を帰国してから感じました。

今後自分信じ、出会

ってきた人々に感謝してますます努力を重ねていきます。と思います。



## 関東支部だより

90 漁 英子

'97年度関東支部総会は、五月二十九日、日暮里サニーホールにて、参加者約五十名で、開催されました。

第一部では、例年通りの内容に加え、六年に亘り、ご尽力下さいました安見泰子姉から、67高橋良子姉への支部長交代が報告されました。第二部では、山田武彦氏の「名曲の条件(下から

見た音楽史、バッハから小室哲哉まで」というタイトルで、クラシック、演歌、ポップスまで幅広いジャンルにまたがった内容の講演を伺いました。ピアノ演奏を入れ、ユーモアにあふれるものでした。

'98年度の総会は、五月二十九日(金)同ホールにて、同窓生による演奏会と茶話会を予定しています。(関東方面へ転居の折には、係までご連絡下さい。) 連絡先 67 高橋 良子 03・342616743

### 非常勤講師募集結果

外部を含め多数の応募があり書類選考後、演奏・教授法等のオーディションで次の方々が選ばれた。

#### 一般募集枠

岩田朋子100・野村幸代102(P) 中野まり100(P)

#### K・C枠(任期二年)

小池 泉105・中村美生子101 前田綾子111・吉廣恭子109(Vn) 田中智子104・樺田真須子106 生島美紀子92・大倉恭子102(Co) 大野和子104(Co)

### お知らせ

一九七六年四月〜一九八九年三月まで設置されてきました研究生制度について、プロフィールなどに研究科あるいは研究コース修了と書いておられる方がありますので、「研究生修了」と改めてくださるようにとの音楽学部より申し出がありました。

'98年度音楽学部教職員

音楽学部長 若本明志教授

学 科 長 前中明子教授

学生主事 奥村智美教授

澤内 崇教授

池田洋子(P)

猪本 隆(Com)

前中明子(P)

中村 健(Cho・Orch)

西田直孝(Fl)

奥村智美(P)

音川 紘一(P)

澤内 崇(Com)

山上明美(P)

若本明志(Vo)

石黒 晶(Com)

西 明美(Vo)

齊藤言子(Vo)

橘 茂(Vo)

田中修二(P)

辻井 淳(Vn)

カール・ンドライ(P)

有吉真知子(基礎演技)

ボリス・ベクレフ(P)

細見由紀子(Hm)

生島美紀子(Solf)

岩田朋子(P)

小池 泉(P)

前田綾子(Fl)

中嶋鴻毅(音響学)

中村美生子(P)

94

74

77

77

101

111

105

100

92

**[1997年度音楽学部定期演奏会] プログラム**

高嶋みどり：女声合唱とピアノのための「女の肖像」

飯田正紀：「大学」バリトン、女声合唱、クラリネット、  
打楽器のための

間宮芳生：児童合唱のためのコンポジション 第12番  
「はるかなあしたから」より[V. 光の章]

スメタナ：わが祖国より「モルダウ」

グリーク：ピアノ協奏曲 イ短調

シューベルト：交響曲 第8番 ロ短調「未完成」

伴奏要員

小幡麻紀(P) 111

曾根亮一(Fl) 101

鈴木豊人(Cl) 67

島田準子(Vo) 104

岡田晴美(Vo) 99

緋田芳江(Vo) 104

橋本玲子(Co) 99

非常勤講師

〔退職〕

新任事務職員

田中典子

事務職員

河野有宏

坂井紀子

松浦陽子

西川真理子(P) 110

阿賀由起子(P) 111

船木真理子(Or) 110

オルガン要員

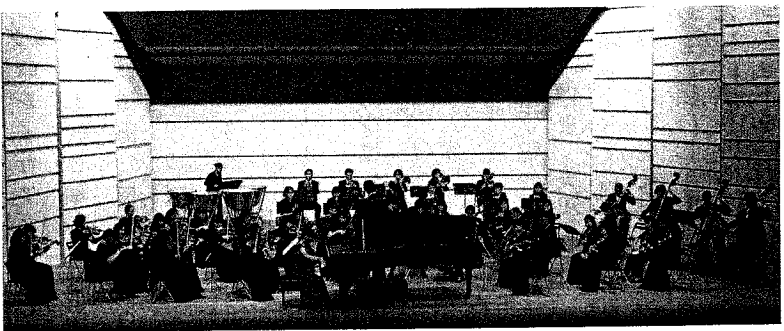
伴奏要員

永田孝信(音楽理論)

樺田真須子(Vo) 105

田中智子(Vo) 104

定期演奏会は十二月二日  
大阪厚生年金会館中ホール  
において左上記のプログラ  
ムで行われた。



ピアノ 稲葉 綾 114

バリトン 橘 茂

指揮 中村 健

辻井 淳

本山秀毅

合唱・オーケストラ

音楽学部学生

春の新人演奏会

一九九七年度卒業演奏会

(第115回—58名)は、三月

三・四・五日の三日間、神

戸女学院講堂で、また専攻

科の修了演奏会(第8回—

13名)は三月十日宝塚ベガ

ホールにて行われました。

本年度卒業生のうち選抜

された方達による新人演奏

会は、四月二十二日(水)

午後6時半よりいずみホー

ルで、例年通りクラブファ

ンタジー協賛で行われます。

クラス委員を通じて入場

券をご依頼申し上げますの

で皆様よろしくご協力下さ

い。(入場料千円)

出演者

(P) 金沢亜紀

吉良裕美子

緒方裕美子

岡崎一砂

住吉朋子

高橋智子

高上亜紀

正木叔子

(Vo) 鄭 里花

山下有紀

(Fl) 國友京子  
小久見佳代  
(Quartet)

藤原美和

伊勢田 藍

板谷真以子

黒田育世

東京読売新人演奏会

(Vo) 鄭 里花

5月4日(月)

東京芸術劇場

関西新人演奏会

(P) 岡崎一砂

山下有紀

5月15日(金)

厚生年金中ホール

オルガン新人演奏会

(Org) 正木叔子

4月29日(水)

エリザベト音楽大学

セシリホール

兵庫県新人演奏会

(P) 高橋智子

5月9日(土) or 10日(日)

兵庫県民小劇場

大学新卒推薦音楽会

(P) 住吉朋子

高上亜紀

(P) 高上亜紀

4月26日(日)

西宮市民会館

アマティイホール

1998年度クラス委員

53	藤土 浅原	村居 海	鈴シ 子	86	横 大	田内 田	真理 子
54~55	原 廣高	田倍 津	敏 華	87	三 若	林 治	子 子
56	高山 谷	山口 山	幸 澄	88	宇 大	河 原	子 子
57~58	片 中	久 田	幸 幸	89	河 大	井 幸	子 子
59	多 深	田 舍	昌 曾	90	西 道	末 幸	子 子
60	福 梅	川 本	伊 佐	91	末 中	川 林	子 子
61	吉 杉	本 藤	尚 素	92	田 渡	上 栖	子 子
62	伊 菊	池 田	伸 巳	93	井 吉	辰 巳	子 子
63	岡 横	山 中	代 江	94	辰 堀	山 岡	子 子
64	田 塩	大 高	子 子	95	堀 山	岡 村	子 子
65	高 粉	石 谷	沙 保	96	山 瀧	長 谷	子 子
66	澤 大	谷 川	子 子	97	谷 川	口 月	子 子
67	岡 井	真 仁	美 子	98	森 大	一 井	子 子
68	大 船	益 松	子 子	99	大 一	井 島	子 子
69	松 益	松 益	子 子	100	井 島	網 福	子 子
70	松 益	松 益	子 子	101	網 福	福 音	子 子
71	松 益	松 益	子 子	102	福 音	福 音	子 子
72	松 益	松 益	子 子	103	福 音	福 音	子 子
73	松 益	松 益	子 子	104	福 音	福 音	子 子
74	松 益	松 益	子 子	105	福 音	福 音	子 子
75	松 益	松 益	子 子	106	福 音	福 音	子 子
76	松 益	松 益	子 子	107	福 音	福 音	子 子
77	松 益	松 益	子 子	108	福 音	福 音	子 子
78	松 益	松 益	子 子	109	福 音	福 音	子 子
79	松 益	松 益	子 子	110	福 音	福 音	子 子
80	松 益	松 益	子 子	111	福 音	福 音	子 子
81	松 益	松 益	子 子	112	福 音	福 音	子 子
82	松 益	松 益	子 子	113	福 音	福 音	子 子
83	松 益	松 益	子 子	114	福 音	福 音	子 子
84	松 益	松 益	子 子	115	福 音	福 音	子 子
85	松 益	松 益	子 子				子 子

会員の皆様へお願い

住所変更された場合は、必ず左記へお届け下さい。

れた方を除きます。60回以上の皆様方は、本年度より年会費が免除となります。

90 岩永 美知子

尚、名字変更は、ふりがなをお願いします。又郵便番号に誤りのある場合はお知らせ下さい。

一九九八年度会費千円を

五月末までにお振り込み下さい。たゞし106回以後卒業時に十年分の会費を前納さ

本年度役員

会長 67岡田晴美

77小林郁子

82亀井洋子

86稲村邦子(新)

87八木蓉子

89有田京子

87足立真知子

80黒川横子

84岩津素子

87松浦弘子

89久保章子

87大川内玲子

編集後記

皆様お元気でしょうか。No.24のクラブファンタジー便りをお届け致します。役員一同、皆様にとお楽しみをいただけたことが嬉しいです。取り組んでいただきましたが、いかがでしょうか？より一層充実した紙面作りの為、皆様からの御意見、御批評、企画etcをお待ちしております。